

かわさき教育プラン各専門部会重点施策整理

：改革の視点 数字：改革の方向性 ・：具体的な施策例

| 教育行政専門部会   | 学校教育専門部会  | 社会教育専門部会  |
|--|---|---|
| <p>多様性、選択性の導入<br/>「子どもの権利条例」の活用(川崎市としての特色)<br/>学校選択、多様な学校の設置、多様な教育の奨励<br/>・小中一貫校、進学重点校、部活による特色など<br/>校長をはじめとする教職員の公募制の導入<br/>・民間人校長も含めて<br/>学校が自律的に使える予算の拡大<br/>特色ある学校づくり、特色ある教育課程の編成<br/>保護者・市民ニーズの尊重</p> | <p>子ども達の確かな成長を願って<br/>いのちの教育、夢をはくむこころの教育を推進<br/>・すべての子どもたちに学習が受けられるような支援体制を図る<br/>・いじめ・体罰の根絶、不登校の減少に向けた取り組みを行う<br/>・家庭や地域の教育力の向上をめざした取り組みを行う<br/>子どもが生涯にわたって健やかに生き抜く教育に取り組む<br/>・教師が子どもと主体的に関わりあえるために子どもを支援指導できる協働体制づくりを行う<br/>より良い社会を創り出していく「確かな学力」の育成をめざす<br/>・学力の評価方法について保護者、市民と考える機会をつくる<br/>・習熟度別学習などの少人数指導の一層の導入、チームティーチング</p>                                      | <p>市民がいきいきと学び、活動する地域社会の創造を目指して<br/>市民の学びと活動の活性化に向けた生涯学習のコーディネート<br/>・社会教育・学校教育・まちづくり活動を総合的に支援する組織の設置<br/>・行政区生涯学習推進会議の活性化<br/>市民の自主的な学習を支えるシステムを<br/>・地域における市民の学習を支える<br/>・市民参加による文化財の保存・活用を通じた魅力ある地域づくり<br/>・川崎の豊かな文化を伝え、学びを支える<br/>・青少年の地域における豊かな育ちを支える<br/>・地域における市民のスポーツ活動を支える<br/>市民利用施設のネットワークを<br/>市民が担う生涯学習システムを<br/>・地域教育会議の活性化<br/>・ITの活用による情報提供や相談のシステムの構築</p> |
| <p>自律性の尊重と公共性、公益性の確保(学校評価)<br/>学校の自己評価と外部評価の整備<br/>児童生徒、保護者、地域住民による学校評価(授業評価)<br/>教育委員会(設置者)による学校評価と学校支援活動<br/>外部機関(学校、行政から自立した機関)による学校評価</p>  | <p>特色ある学校づくりをめざして<br/>川崎という地域に深く根ざした、特色ある教育活動の編成と展開をめざす<br/>・校長のリーダーシップのもと学校の自主性や自律性を発揮する<br/>幼稚園から中学校までの12年間の子どもの成長を見通した教育活動の展開をめざす<br/>・小・中一貫校、上級学校における進学時の支援体制の整備<br/>国際化・情報化に対応した教育を一層推進する<br/>・英語教育に限らず国や地域の習慣、伝統、文化を学ぶ教育活動を行う<br/>・英語やパソコンの指導能力のある人材の育成<br/>創意工夫を発揮できる学校づくり<br/>・教職員を雑務から解放する<br/>・創意工夫に校内一丸となって取り組む<br/>・校長のリーダーシップを総合的な面から支える<br/>・学年に一人の加配教員</p> | <p>学校と地域が手を結び、共に学びあう地域コミュニティを目指して<br/>学校を子どもと大人がふれあう地域のセンターに<br/>・学校施設の開放促進<br/>地域に子どもたちがありのままの自分でいられる居場所を<br/>安心して子育てができる、共に育ちあう地域を<br/>・教育活動全般にわたる、学校と地域との関係づくり<br/>・学校活動や学校運営における地域の参加<br/>地域の資源や人材を生かした子どもたちの学びを<br/>・地域における社会体験活動</p>  |
| <p>協働性と専門性の推進<br/>さまざまな学校関係者が協働して教育問題を審議、検討する<br/>・拡大教育委員会の設置<br/>地域教育会議の改組再編と学校協議会の創設・活用、PTAの「学校協議会」化<br/>教職員組織による自律的な職能成長の活動を奨励</p>  | <p>教職員の力量形成と向上をめざして<br/>管理職・教職員のありかたの見直しを図る<br/>・学校規模に応じて管理職をサポートできる支援体制の強化<br/>実践的な学校支援体制づくりを進める<br/>・学校の内部組織の見直しによる教職員相互の相談、支援体制づくり<br/>・学校外部からの専門家チームや研究研修機関による連携支援体制づくり<br/>・総合教育センターの教育課程・研究・研修・相談・特別支援に対する機能強化<br/>研修プログラムの再編<br/>・教職員のライフステージにあった実践的な内容へ見直す</p>  | <p>川崎らしい新たな市民学習を目指して<br/>生涯学習のバリアフリーを促進し、参加の機会を充実させていきます<br/>社会的自立に向けたキャリアアップを支援します<br/>・フリーター、引きこもり、女性等に対する就労支援<br/>自立した川崎市民への学びを支えるネットワークを構築していきます<br/>・市民団体、NPO、民間企業、学校、他行政組織等と連携した市民教育の推進</p>   |
| <p>柔軟性と民間活力の導入<br/>教育分野での「民間にできること」とは何か？<br/>公共セクターと民間セクターの連携<br/>・新たな管理運営手法の導入<br/>・地域、企業人材の活用<br/>・学校への寄付金要綱の整備？<br/>総合的教育行政サービスによる効果的な支援<br/>・行政区ごとの学校・社会教育を支援する組織の整備<br/>現場優先主義の確立</p>                 | <p>学校・家庭・地域の子育ての体制づくり<br/>学校のグランド・デザインと内部評価・外部評価の取り組みを進める<br/>学校と地域コミュニティとの関係づくりを行う<br/>・地域人材の活用による教職員へのサポート体制をつくる<br/>・学校・家庭・地域の役割を保護者や地域と意見交換する<br/>・校舎の新改築時に保護者や地域と意見交換する</p>  |   |